

公共交通のこと  
考えてみませんか？

まづがわ

# 公共交通だより

発行日  
平成29年  
9月1日

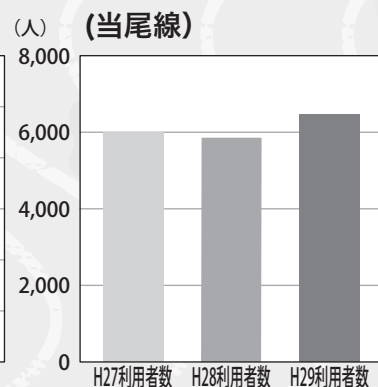
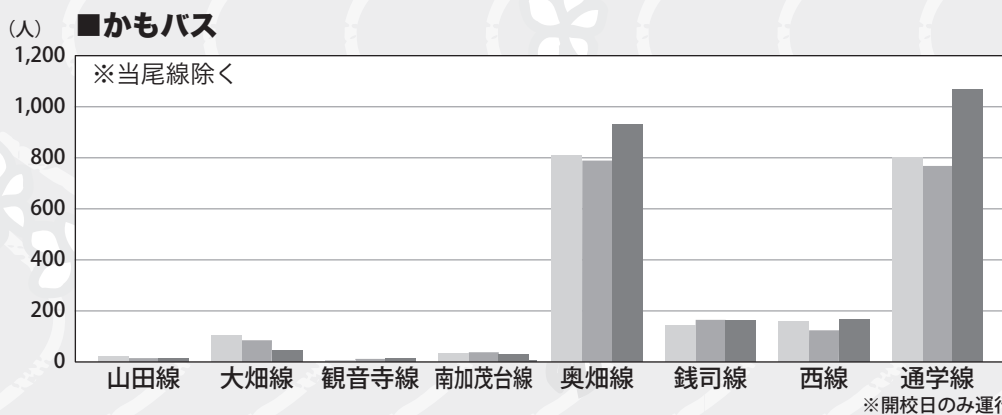
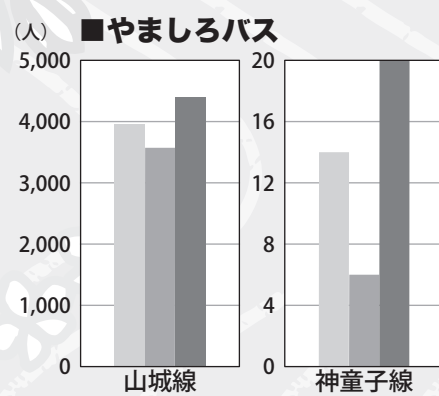
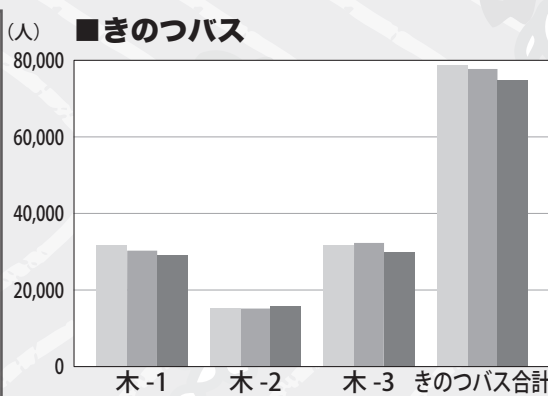
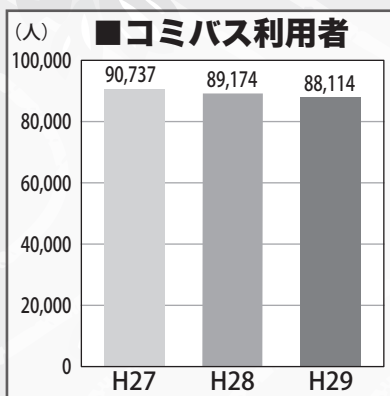
vol.  
109

木津川市では、市民の皆様にとって使いやすく満足度の高い地域公共交通づくりに取り組んでいます。今月号では、コミバスの利用状況、強風時の対応、ワークショップの募集、沿線のお出かけスポットについてお知らせします。

## コミバスの利用状況について（平成29年4月～7月）

各年度の4月から7月までのコミバス利用者数は、次のとおりです。

凡例 ■ H27利用者数 ■ H28利用者数 ■ H29利用者数

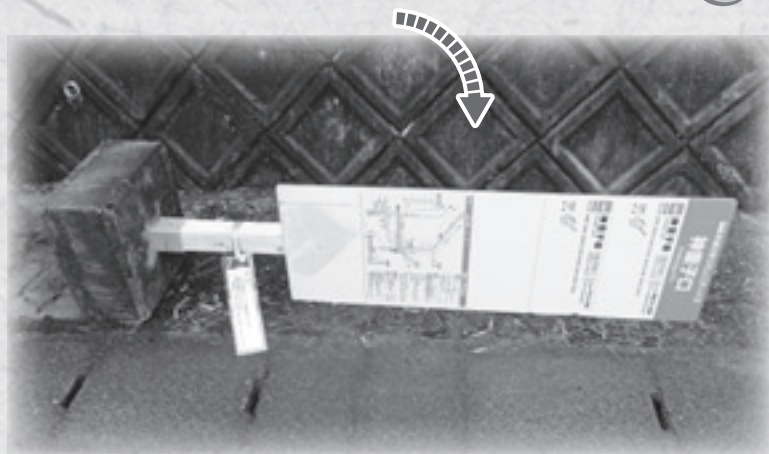


## 強風時はバス停の標柱を倒します

台風の接近等により強風警報が発令されている時は、標柱が転倒し事故が発生する恐れがあるため、あらかじめ標柱を倒す場合があります。(運行を中止しているわけではありません。)

コミバスのご利用の際や付近を通行する際にはご注意ください。

なお、各バス路線の運行状況については、市役所学研企画課までお問い合わせください。



# ワークショップ(座談会)の参加地域を募集しています



持続可能な地域公共交通を構築するため、公共交通を考えるワークショップを開催します。

ワークショップでは、地域の皆様の利用実態や利用意識など、公共交通に関する意見交換をいただき、利用しやすく満足度の高い地域公共交通を目指します。昨年行ったワークショップでは、利用者から頂いた意見を基に、新規のバス停を設置しました。

ワークショップの開催を希望される地域がありましたら、事務局までご連絡ください。

## 【ワークショップの内容】

- 地域の意見及びニーズの把握
- 公共交通の利用実態・利用意識の確認
- 公共交通の課題・問題点、その改善策について
- その他、公共交通に関する意見交換



# 沿線のお出かけスポット



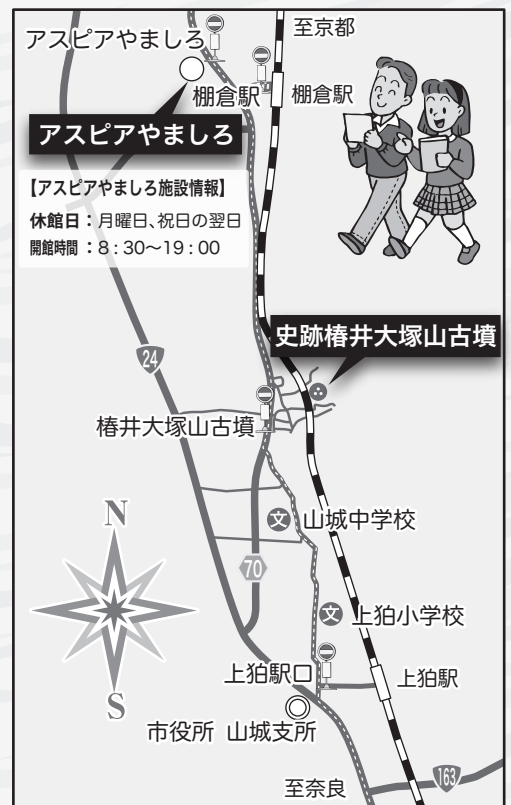
史跡椿井大塚山古墳は、古墳時代初め頃の三世紀後半につくられた山城地域を代表する前方後円墳です。全長約175mと非常に大きなものですが、明治29年の鉄道敷設置工事によって、古墳のほぼ中央を鉄道が分断しています。



昭和28年、鉄道法面の拡幅工事が行われた際に、偶然見つかった竪穴式石槨から邪馬台国女王卑弥呼の鏡とも呼ばれる三角縁神獸鏡30数面を含む、多くの副葬品が出土しました。

これらの副葬品の出土は、その後の古墳時代研究を飛躍的に前進させました。

木津川市山城総合文化センター（アスピアやましろ）内の「椿井大塚山古墳と三角縁神獸鏡特別展示室」において、出土した鏡のうち32面のレプリカを展示していますので、古墳を訪れた際はぜひお立ち寄りください。（現在、一部修理中）



## ■やましろバス（山城線）

渋川行き 木津駅行き	木津駅 9時~16時 毎時18分発	上粕駅 9時~16時 毎時27分発	椿井大塚山古墳 9時~16時 毎時31分発	棚倉駅 9時~16時 毎時36分発	アスピアやましろ 9時~16時 毎時37分着
	8時~15時 毎時07分着	8時~15時 毎時59分発	8時~15時 毎時54分発	8時~15時 毎時49分発	8時~15時 毎時48分発



やましろバス山城線

公共交通は、みなさまのご利用によって成り立っています。  
鉄道やコミバス等の一層のご利用をお願いします。

発行：木津川市地域公共交通総合連携協議会  
事務局：木津川市学研企画課

〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9  
電話番号：0774-75-1201（直通）  
e-mail：kikaku@city.kizugawa.lg.jp